

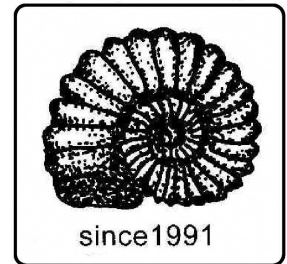
令和4年度 第1回
山形市総合学習センター運営協議会会議録

令和4年5月24日(火)
15:30~16:45
会場:多目的研修室

I 出席者

【委員】津留俊介委員、関口雄一委員、戸田雅大委員、横倉晋也委員、
阿部慶子委員、西村仁美委員、櫻井順一委員、高嶋敏春委員、
芦野 均委員、高見佳澄委員 (計10名)

【事務局】細谷総合学習センター所長
沼澤総合学習センター副所長
花輪総合学習センター指導主事
白田総合学習センター指導主事
板垣学校教育課主任指導主事
田中学校教育課主任指導主事
飯野学校教育課指導主事 (計 7名)



II 傍聴者 0名

III 会議

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 所長あいさつ
- 4 運営協議会委員の自己紹介と職員紹介
- 5 運営協議会長あいさつ
- 6 協議

(1) 令和3年度事業報告 … 資料をもとに、事務局担当者から報告。

(委員) 適応教室の学校復帰や学校とのやり取りにおいて、コロナは影響しているのか。

(事務局) コロナの影響は特に感じていない。相談員は通級生と定期的に面談を行っており、適応教室の様子も含めて学校へ報告書を出したり、学期1回の学校訪問を行ったりして情報を共有している。

(委員) 初任者研修の参加者はどのくらいの割合になっているか。

(事務局) 悉皆研修なので、初任者全員が参加している。

(委員) ネット、ゲーム依存の研修会(講演)の効果、リアクションはどうか。

(事務局) 話を聞いて終わりにならないよう、子どもたちに振り返りを書いてもらうようにしている。子どもたちの振り返りからは、「今後、しっかり考えなが

ら使いたい。」とか「トラブルが身近なものだとは思わなかった。」等があった。学校へは、道徳や学活等で継続して学習してほしいと伝えている。

(委員) オンライン、オンデマンド等さまざまな方法で行っている研修会の手応えや課題について伺いたい。

(事務局) 市内の先生方、講師はオンライン操作に慣れてきている。また、受け入れでもらっていると感じている。しかし、対面の有効性は否めないで、できるものは対面で行っていきたい。環境面では、オンラインにはまだ整っていない面もあるので、先生方にストレスをかけないよう環境を整えていく必要がある。

(委員) ICT支援員はどのような方たちが行っているのか。

(事務局) プログラミング教育8名については、株式会社ウィルに委託している。情報ネットワーク8名については、山教販にお願いしている。

(委員) 6年生のスマートフォン所持率が上がっていることについては、スピード感をもった対応が必要だと思った。GIGAスクール構想の現状については、どうなっているか。

(事務局) 現在、山形市教育の情報化推進計画策定に向けて準備している。一人1台のタブレットについては、子どもたちが学校や家庭で活用しながら、資質・能力を伸ばしていきたい。

(委員) 研修企画室ができたことによって、教育資料等を置く場所が狭くなっているようだが、教育資料の収集、管理についてはどうなっているか。

(事務局) 教育資料の収集、管理、貸し出しは、これまでどおり行っている。山形市で採用されていない教科書等も需要がある。

(委員) 自宅待機等で学校に来られない児童・生徒に対して、オンラインで授業を配信するという事は行っているのか。

(事務局) なかなか進んでいないのが現状である。オンライン朝の会で課題を共有し、分からないところを確認している学校もあると聞いている。今後、家庭でのWi-Fi環境も含めて整えていく。

(委員) GIGAスクール構想を通して、山形市が目指す最終的な姿は。

(事務局) 児童生徒が情報機器を活用して、学びを勝ち得ていく姿である。将来的には、学校に登校できなくても、学習に参加できる環境にしていく。

(委員) コロナ感染状況を見ると終わりがないように思える。コロナ感染状況を考えてなのか、コロナとは別に学校教育として考えていくのか。自分は、家庭が学校に任せ過ぎのような気がする。だから学校と家庭の両方でやることを前提にしていることを、もっと発信してほしい。

(事務局) 学校、家庭の両方で行っていけるようにしていきたい。

(委員) 今日報告のあった情報モラルの調査結果は、ホームページなどで見ることができるのか。

(事務局) 先生方には開示している。総合学習センターの所報にも載せているが、一般の方には開示していないので、今後検討していく。

(委員) 特別支援教育相談員の活動実績では、相談件数や学校訪問が増えている様

子がわかるが、現在何名で行っているのか。。

(事務局) 現在2名の相談員で行っている。学校訪問では、授業参観や担任、保護者と相談を行っている。

(委員) 適応教室「風」について、昨年度は親の集いが中止となり残念がる声が多かった。心の寄りどころにしている事業なので、今年度はぜひ実施してほしい。

(事務局) コロナ感染状況を見ながら、実施する場合は、感染対策もしっかりとって行っていきたいと考えている。

(委員) 幼児ことばの相談室の職員がかつて1名だったが、現在2名になっている。それなのに、通っている幼児が高止まりの状態になっている理由は。

(事務局) 幼稚園、保育園にチラシを出しているため、幼稚園、保育園から保護者へ紹介されているのではないかと考える。周知されてきた結果ととらえている。

(委員) ICT支援員のプログラミングと情報ネットワークの人数が8名、8名と同じになっている。ニーズに合わせて人数を変えた方がいいと思う。

(事務局) プログラミングは3年間8名配置の契約となっている。今後、推進期間が過ぎた後、人数配分を検討していく。

(委員) 報告、説明で使用したグラフは、経年変化が分かりやすいので、運営協議会資料にもグラフを載せてほしい。

(2) 令和4年度運営方針および事業内容 … 資料をもとに、事務局担当者から報告。

(委員) 教職員の研修について、パワハラ、飲酒運転防止の研修はどうなっているのか。

(事務局) 市で主催している経験者研修(教職6年目、11年目)の中で、講話を行っている。また各学校の校長先生方に、常時、モラル面の指導等をお願いしている。

7 その他

8 次回の協議会について

9 閉 会